

# 全国市長会 先輩職員からのメッセージ

全国市長会には、いろいろな職員がいます。

今年も応募者の皆さんに全国市長会を知ってもらうため、何人かの職員に現在の業務やメッセージを聞いてきました。

是非ご覧ください！



# 1 社会文教科 参事 F・H（平成7年採用）

## 【現在の仕事を教えてください】

今年の4月に社会文教科に配属され、介護保険を担当することとなりました。

日本は世界に類をみないスピードで高齢化が進展していることは、皆さんもご存知かと思います。このような情勢の中、保険者である都市自治体が円滑に介護保険を運営できるよう、担当として、介護保険に関して自治体がどのような課題を抱えているかアンテナを張って情報を入手し、その課題を解決するための要望・意見書を取りまとめ、厚生労働省などに対して働きかけを行うといった業務を担っております。

また、私は今年の3月まで市町村職員を対象に研修を行う公益財団法人に出向しており、そこでは地域課題に対応する市町村職員の能力向上を図るための研修の企画・立案をする業務に携わっておりました。

全国市長会は、地方の声を国の届けていくということがメインの仕事ではありませんが、こうした出向をとおして幅広い業務に携わり様々な経験をすることができる職場です。



## 【これまでで印象に残っている仕事】

全国市長会の魅力は、何といても国などの政策決定の場に立ち会えることだと思います。

学生の頃は、政党の部会や国の審議会などというものは新聞やテレビで見ただけで遠い世界のことのように思いましたが、全国市長会に入局し、そのような場で全国市長会が提言したことが丁々発止議論されているところを実際に目の当たりにしますと、全国市長会がいかにスケールの大きな仕事をしているのかということを実感します。

また、私どもは会議や実行運動などの場で多くの市長とお話をする機会があります。住民の福祉の向上を図るために、住民の声をどのように吸い上げ、どのように判断し、どのような政策を行っているかなど、自治体を預かるトップから直接お話が聞けるということは、全国市長会の職員ならではの贅沢な機会であると思います。

## 2 行政部 T・M（平成22年採用）

### 【現在の仕事を教えてください】

行政部が扱う政策分野は地方自治制度、地方分権改革、地方創生、災害対応、情報化政策等です。このうち、私は地方自治制度、地方分権改革、災害対応を主に担当しています。

地方自治制度については、本会から会長が参画する、政府の第32次地方制度調査会への対応等があり、地方分権改革については、自治体が国に権限移譲等を提案する「提案募集方式」への対応等があります。いずれも都市自治体の立場から国に対して的確に意見表明できるよう、情報収集や意見集約に努めています。

災害対応は、今年、新たに防災対策特別委員会が設置されるなど、業務の比重が大きくなっています。現在は、全国の都市自治体から東日本大震災等の被災自治体への職員派遣のとりまとめを行っているほか、被災地の復旧・復興が進むよう、関係省庁へ要請をしています。今般の大阪府北部地震と西日本豪雨についても、会長はじめ全国の市長が総務大臣や防災担当大臣等に面会、要請しています。その際、私は関係省庁との連絡調整等を担当しました。また、会長に随行して、被災地を訪れることもあります。



### 【全国市長会の魅力】

全国規模の仕事に携われること、そして、全国の市長や自治体職員の方々と一緒に仕事ができることです。

本会が主に扱うのは政策や制度であり、住民との直接的接点や現場などはありません。また、本会の主役は全国の市長であり、事務局はあくまで裏方です。しかし、市長の全国的連合組織たる本会が、地方自治制度や地方分権改革等について意見を表明することは、それ相応の重みがあり、意見形成段階から貢献することは大きな魅力です。

また、本会では会議などの際に全国の市長と身近に接することができます。市長は地元のためだけでなく、全国的課題の解決のため、豊かな発想と多様な意見を持っています。それらを本会の意見として集約するのは容易ではない場合もありますが、大変やりがいがあります。

さらに、本会には全国の市役所から研修職員が外向して来ています。出身地も経験も異なる優秀な研修職員から日々刺激を受け、また、小さな組織にしながら全国に人脈が広がるのも大きな魅力です。



### 3 調査広報部 H・K（平成23年採用）

#### 【全国市長会に勤務してよかったと思うこと】

現在、「働き方改革」や「子ども・子育て」について大きな話題になっていますが、このような視点から、全国市長会は働きやすい職場であると感じています。

私は昨年結婚しましたが、今後、出産を迎え、子育てをすることになっても、全国市長会で働き続けることについての不安はありません。

本会には、異性の先輩や上司からも応援してもらえる暖かい雰囲気があります。

また、休暇制度や短時間勤務制度はもちろん、配属部署などについても配慮してもらえる環境にあります。産休・育休をとり、その後も働き続けている先輩方もおります。

全国市長会は、女性にとって、安心して、仕事とプライベートを両立・充実させることのできる職場だと思います。



#### 【現在の仕事を教えてください】

今年度から調査広報部に所属し、「情報化担当」として、主に事務局内のLANシステムの管理や本会ホームページの管理・運営などを行っています。

事務局内のLANシステム等の管理では、機器トラブルへの対応など、事務職員の日々の作業が円滑に行われるよう努めています。

ホームページでは、本会の活動内容や国の動き等の情報を掲載しています。異動前（社会文教部／介護保険担当）は、都市の規模によって抱える問題が異なる中、全市区の意見・要望をとりまとめ、文言を調整して要望書を作成することが大変でしたが、そのようにとりまとめられた意見書等を調査広報部において積極的に発信しています。現在、情報ツールとして更に利用しやすく、わかりやすいホームページを目指し、少しずつ見直しを行っているところです。

全国市長会は、平成30年で創立120周年を迎えました。  
6月には、120周年記念と冠して「第88回全国市長会議」を開催し、今年も来賓として安倍内閣総理大臣、また、野田総務大臣をお迎えしました。



全国市長会に興味を持った方、是非、採用試験に応募してください。皆さんとお会いできるのを楽しみにしています！